

平成 29 年度江田島市教育委員会 経営計画

I ミッション

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒の生きる力を育むことを目指し、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と教育環境の整備・充実により、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II ビジョン

【児童生徒像】

○ 生きる力である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」がバランスよく育成され、その水準が向上している。

【学校像】

○ 組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される学校づくりを目指している。

【市民像】

○ 文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

【教育委員会像】

○ 報告・連絡・相談による情報共有を適切に行い、組織的に対応している。

○ クイックレスポンス（すばやい対応）ができている。

III 現状分析

【学校教育】

○ 教職員の懲戒処分については、平成 28 年度は発生していない。（平成 27 年度も発生していない。）

○ 広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率（タイプⅡ）において、平成 28 年度は小学校ですべての実施教科で県平均を上回ったが、中学校英語では県平均を 1.9 ポイント下回っていた。（平成 27 年度は、小学校算数（▲0.6 ポイント）、中学校国語（▲7.5 ポイント）、中学校数学（▲0.7 ポイント）、中学校理科（▲2.3 ポイント）、中学校英語（▲6.2 ポイント）で県平均を下回った。）

○ 生徒指導上の諸問題において、平成 28 年度は、中学校の不登校生徒の割合は 1.60%（7 人）である（平成 27 年度 県 2.60% 本市 1.75%）。小学校は発生していない。（平成 27 年度 県 0.45% 本市 0.00%）

○ 学校給食の地場産品の使用割合は、県平均を上回っている。
（平成 28 年度 県 30% 本市 34%）

【生涯学習】

○ 学びの館及び大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）の平成 28 年度の来場者については、学びの館 8,961 人（平成 27 年度 8,486 人）、大柿地区歴史資料館（灘尾記念文庫）770 人（平成 27 年度 692 人）である。

○ スポーツセンタートレーニング室の平成 28 年度の利用者数は、7,872 人（平成 27 年度 6,600 人）である。

○ 図書館の年間貸出冊数は、平成 28 年度 103,767 冊（平成 27 年度 110,572 冊）である。

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	教職員の服務規律の厳正確保を図る。	教職員による不祥事を0（ゼロ）にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各校が実施した服務研修の好事例を市主催研修において活用し、各校の服務研修に生かせるようにする。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。
	児童生徒の学力の向上を図る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びの变革」推進協議会を設置し、取組を進める。 ○ 「学力向上チェックリスト(改訂版)」のすべての項目において、その質が向上するよう、具体的に指導・助言する。 ○ 年間3回の計画訪問を行い、授業改善等について、指導力向上に係る指導・助言する。 ○ ICT活用事業(市町挑戦加配)、理科教育推進事業(市町挑戦加配)、外国語指導事業を実施する。 ○ 学力向上に関する先進校を視察する。
	児童生徒の豊かな心を育成する。	不登校児童生徒数を減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月を児童生徒主体の「いじめ撲滅月間」とし、重点的な取組を行う。 ○ 全児童生徒に「いじめ」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 全校で児童生徒を対象とした情報モラルに関するネットトラブル講演会を実施する。 ○ 道徳教育推進教師等を対象とした市主催研修(心の教育担当者研修会)を実施する。 ○ 教育相談体制の充実を図るため、スクールカウンセラー等を招聘し、市主催研修を実施する。
	江田島の「食」について知り、故郷への愛着や誇りを育てる。	学校給食の地場産品の使用割合を増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食材を発注する際、地場(県内)産品を指定する。 ○ 市内の生産者に計画的に食材を発注する。 ○ 「おいしい江田島の日給食」を年2回実施し、江田島産品を積極的に使用する。 ○ 市長部局(健康推進課)と連携し、「えたじまん食育レシピ」2万食プロジェクトを実施する。 ○ 学校給食だよりで周知する。
生涯学習	歴史資料館の活性化を図る。	学びの館、大柿地区歴史資料館(灘尾記念文庫)の来場者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企画展「六角紫水展(仮称)」を行う。(大柿地区歴史資料館) ○ 古写真収集事業の窓口とし、写真の展示を行う。 ○ 市民ギャラリーや文化財等の展示企画を充実させる。 ○ ものづくり教室の充実を図る。(学びの館) ○ 広報の活用や学校への呼びかけ等により、PR強化を図る。
	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	スポーツセンターのトレーニング室の利用者数増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ トレッドミル1台を追加し、5台とする。 ○ 運動機器の使用マニュアル及び運動機器を使用したトレーニングメニューを作成する。 ○ トレーニング室を利用した健康教室を行う。 ○ 広報等の活用により、PR強化を図る。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2館2室合同の「スタンプラリー」を夏季休業中に実施する。 ○ 読書記録をためるための「読書貯金通帳」(大人・子ども用)を配布する。 ○ 小学校高学年対象の「子ども司書」養成講座の参加者を増やし実施する。 ○ 子ども読書活動推進計画に基づき、家庭教育支援として読書活動をテーマとした参加型プログラム及び読書ボランティアによる「おはなし会」を実施する。 ○ 利用案内チラシを作成するなど、PRの強化を図る。